

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東北財務局長
【提出日】	平成25年2月13日
【四半期会計期間】	第64期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)
【会社名】	株式会社サトー商会
【英訳名】	Satoh&Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 玉根 裕
【本店の所在の場所】	仙台市宮城野区扇町五丁目6番22号
【電話番号】	022(236)5600(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 岡本 雄次郎
【最寄りの連絡場所】	仙台市宮城野区扇町五丁目6番22号
【電話番号】	022(236)5600(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 岡本 雄次郎
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第3四半期連結 累計期間	第64期 第3四半期連結 累計期間	第63期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	31,646,358	34,346,950	41,945,668
経常利益(千円)	921,661	1,170,582	1,258,798
四半期(当期)純利益(千円)	512,259	820,426	691,127
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	502,888	844,566	721,669
純資産額(千円)	17,316,912	18,184,544	17,554,518
総資産額(千円)	28,374,100	29,460,917	27,328,798
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	57.29	91.75	77.29
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)		-	
自己資本比率(%)	61.0	61.7	64.2

回次	第63期 第3四半期連結 会計期間	第64期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	29.32	33.80

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における東北の経済環境は、東日本大震災後の復興需要が拡大し始めておりますが、その効果は限られた地域や業界に留まっており、回復のテンポは鈍化してきております。また、海外経済の減速などの影響で生産活動が低下してきており、企業活動や個人消費など内需は総じて踊り場から後退局面入りの兆しが現れ始めております。

東北地方を主要な営業エリアとしている当社グループを取り巻く環境は、他の地域と比べ雇用情勢は持ち直しの動きが続いているものの勢いは弱く、また、電力料金の値上げも予定されており、企業景況感は悪化しておりますが、輸出関連からは円安を好感した明るいコメントが聞かれ始めております。

このような環境のもと当社グループは、中長期的な成長を維持する観点から、営業基盤の強化とシェア拡大のため、栃木県下都賀郡壬生町に物流機能を備えた営業所を新設し11月中旬営業開始いたしました。また、小売業部門では、宮城県登米市、石巻市に続き仙台市中心部一番町に今年度3店舗目の小売店舗を新設し、営業開始いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高343億46百万円（前年同四半期比8.5%増）、営業利益9億61百万円（同24.0%増）、経常利益11億70百万円（同27.0%増）、四半期純利益は、震災により本社倉庫・事務所等の被害に対して、施設復旧整備助成金などがあり、8億20百万円（同60.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

卸売業部門におきましては、概ね全業種において前年及び震災前の年度を上回り、かつ、重点・底上げ得意先の深耕や外食、メディカルを中心とした新規開拓も比較的順調に推移いたしました。業種別では、宮城県の製菓、外食、弁当、メディカル部門、地域におきましては岩手、山形、郡山、会津の業績が拡大しました。一方、11月に開設いたしました宇都宮営業所の北関東エリアも大きく貢献いたしました。

東北地方を取り巻く経済環境が目まぐるしく変化する状況の中、得意先様のご商売にお役に立つため、消費者ニーズに対応した商品開発、メニュー開発、売り場づくりのご提案、また、「業種別、地域別」に絞った各種キャンペーンを始めとした販売促進活動や調理技術の支援など、お客様と一緒に集客アップにも取り組んでまいりました。特に商品開発では付加価値の高い「ジェフサブランド」「サトーブランド」のオリジナル商品の開発を行い、同業他社との差別化戦略にも重点を置いた商品の提供に努めてまいりました。

この結果、売上高300億36百万円（前年同四半期比9.7%増）、セグメント利益（営業利益）は10億40百万円（同36.9%増）となりました。

小売業部門におきましては、東日本大震災以降、休業しておりました石巻店を昨年5月より仮店舗で営業を再開して、10月下旬に店舗完成により石巻蛇田店として本オープンすることとなり、宮城県沿岸地域の復興を支援する事ができました。また、11月中旬には仙台市中心部のシェアアップを図るため、繁華街型の店舗として一番町店をオープンいたしました。

中小飲食店業者様に関しましては、ダイレクトメールによる「仕入れ応援セール」を継続して実施したこと、「ジェフサブランド」の販売促進や「居酒屋メニュー提案」などのイベントを行ったことで、客単価をアップさせる事に繋がり業者会員様への売上は、前年同四半期比で101.1%と好調に推移いたしました。店舗数の増加により売上高は前年実績を上回りましたが、販売価格の下落が続く環境の中、一般のお客様の客数は減少し、また、新店諸費用を計上したことにより営業利益は減少いたしました。

この結果、売上高は43億10百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益（営業利益）は2億63百万円（同24.3%減）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ21億32百万円増加し、294億60百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が9億85百万円、商品が6億48百万円、有形固定資産が5億84百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ15億2百万円増加し、112億76百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が20億88百万円増加し、賞与引当金が1億30百万円、未払法人税等が3億97百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ6億30百万円増加し、181億84百万円となりました。これは主に、四半期純利益8億20百万円及び剰余金の配当2億14百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.7%（前連結会計年度末64.2%）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により前年同四半期連結累計期間と比べ商品仕入実績及び販売実績が著しく増加しております。

商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	前年同四半期比(%)
卸売業部門		
調理冷食(千円)	7,656,692	114.9
製菓材料(千円)	4,047,590	107.4
水産品(千円)	3,074,612	116.0
農産品(千円)	3,157,639	103.0
畜産品(千円)	1,572,333	106.6
調味料その他(千円)	6,437,226	104.9
計(千円)	25,946,095	109.2
小売業部門(千円)	3,271,765	99.6
合計(千円)	29,217,860	108.0

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	前年同四半期比(%)
卸売業部門		
調理冷食(千円)	8,929,796	114.1
製菓材料(千円)	4,754,748	108.0
水産品(千円)	3,637,397	116.1
農産品(千円)	3,844,648	104.4
畜産品(千円)	1,730,091	108.4
調味料その他(千円)	7,139,632	106.0
計(千円)	30,036,316	109.7
小売業部門(千円)	4,310,634	100.8
合計(千円)	34,346,950	108.5

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設について、当第3四半期連結累計期間に完成したものは次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	セグメント の名称	設備の内容	総額 (千円)
㈱サトー商会 宇都宮営業所	栃木県 下都賀郡	卸売業部門	販売設備	492,701
㈱サトー商会 石巻蛇田店	宮城県 石巻市	小売業部門	販売設備	111,226

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,024,000
計	23,024,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数 (株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,152,640	9,152,640	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,152,640	9,152,640		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		9,152,640		1,405,800		1,441,680

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 211,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,933,200	89,332	
単元未満株式	普通株式 8,440		
発行済株式総数	9,152,640		
総株主の議決権		89,332	

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)サトー商会	仙台市宮城野区扇町 5 - 6 - 22	211,000		211,000	2.31
計		211,000		211,000	2.31

(注) 当第3四半期会計期間末日現在における自己株式数は、211,032株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	789,366	2,051,402
受取手形及び売掛金	5,304,729	6,290,278
有価証券	8,519,500	7,100,000
商品	1,462,886	2,111,259
その他	602,022	404,913
貸倒引当金	15,443	19,824
流動資産合計	16,663,061	17,938,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,479,664	1,855,608
土地	3,896,241	3,994,702
その他(純額)	320,732	430,857
有形固定資産合計	5,696,639	6,281,168
無形固定資産	61,760	88,569
投資その他の資産		
投資有価証券	3,611,111	3,923,354
その他	1,341,424	1,266,423
貸倒引当金	45,198	36,628
投資その他の資産合計	4,907,337	5,153,149
固定資産合計	10,665,736	11,522,887
資産合計	27,328,798	29,460,917
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,497,699	9,586,145
短期借入金	580,000	580,000
未払法人税等	502,500	105,100
賞与引当金	256,010	125,949
災害損失引当金	5,601	-
営業所閉鎖損失引当金	20,000	-
その他	676,479	659,331
流動負債合計	9,538,290	11,056,527
固定負債		
退職給付引当金	28,231	15,007
役員退職慰労引当金	194,470	186,266
資産除去債務	-	5,759
その他	13,287	12,810
固定負債合計	235,989	219,845
負債合計	9,774,280	11,276,372

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,405,800	1,405,800
資本剰余金	1,441,725	1,441,717
利益剰余金	14,964,895	15,570,725
自己株式	187,631	187,566
株主資本合計	17,624,789	18,230,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,270	46,131
その他の包括利益累計額合計	70,270	46,131
純資産合計	17,554,518	18,184,544
負債純資産合計	27,328,798	29,460,917

## ( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

## 【 四半期連結損益計算書 】

## 【 第 3 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 千円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
売上高	31,646,358	34,346,950
売上原価	26,287,113	28,562,993
売上総利益	5,359,244	5,783,956
販売費及び一般管理費	4,583,397	4,822,070
営業利益	775,846	961,885
営業外収益		
受取利息	54,372	50,942
受取配当金	4,050	5,558
持分法による投資利益	29,190	24,824
雇用調整助成金	17,199	-
投資有価証券償還益	-	79,022
その他	54,011	59,926
営業外収益合計	158,824	220,274
営業外費用		
支払利息	2,224	2,262
賃貸収入原価	10,707	9,314
その他	77	-
営業外費用合計	13,009	11,577
経常利益	921,661	1,170,582
特別利益		
貸倒引当金戻入額	19,799	-
災害見舞金	35,562	-
固定資産売却益	-	24,135
補助金収入	-	134,660
その他	-	5,499
特別利益合計	55,361	164,294
特別損失		
固定資産売却損	-	3,088
関係会社株式売却損	33,685	-
災害による損失	27,614	-
その他	28,977	626
特別損失合計	90,276	3,715
税金等調整前四半期純利益	886,747	1,331,162
法人税、住民税及び事業税	299,183	328,376
法人税等調整額	75,303	182,359
法人税等合計	374,487	510,735
少数株主損益調整前四半期純利益	512,259	820,426
四半期純利益	512,259	820,426

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	512,259	820,426
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	9,371	24,139
その他の包括利益合計	9,371	24,139
四半期包括利益	502,888	844,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	502,888	844,566
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	205,348千円	210,049千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	107,298	12	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金
平成23年10月25日 取締役会	普通株式	107,298	12	平成23年9月30日	平成23年12月2日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	107,298	12	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金
平成24年10月24日 取締役会	普通株式	107,298	12	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	27,368,554	4,277,804	31,646,358		31,646,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	27,368,554	4,277,804	31,646,358		31,646,358
セグメント利益	760,188	347,776	1,107,964	332,117	775,846

(注)1. セグメント利益の調整額 332,117千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売業部門	小売業部門			
売上高					
外部顧客への売上高	30,036,316	4,310,634	34,346,950		34,346,950
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	30,036,316	4,310,634	34,346,950		34,346,950
セグメント利益	1,040,332	263,314	1,303,646	341,761	961,885

(注) 1. セグメント利益の調整額 341,761千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の各セグメント利益への影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	57円29銭	91円75銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	512,259	820,426
普通株主に帰属しない金額(千円)		-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	512,259	820,426
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,941	8,941

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成24年10月24日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- 1) 中間配当による配当金の総額.....107,298千円
- 2) 1株当たりの金額.....12円00銭
- 3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年12月4日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録されている株主に対し、支払を行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月12日

株式会社 サトー商会

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 谷藤 雅俊 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 高原 透 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サトー商会の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サトー商会及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。